

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	体育	課	社会体育	係	事務事業No.	110512			
事務事業名	体育振興一般経費					会計	一般会計				
まちのテーマ	人を育むまち					款	10	項	5	目	1
施策目標	元気あふれる市民スポーツの振興										
後期計画掲載頁	121	頁	個別計画	スポーツ推進計画							頁
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等					

**事業の概要**  
 事務事業の一般的な経費及びスポーツ推進審議会や、スポーツ推進委員会の活動等によるスポーツの推進を図る。また、安全な登山に向けて、関係機関と連携して登山相談所を開設する。

**事業の目的**  
 市民の生涯スポーツの推進を図るため、スポーツ推進審議会の開催やスポーツ推進委員を委嘱し事業を効果的に実施する。また、山岳都市として、登山相談所の開設等により登山客の安全を図る。

**事業内容**  
 スポーツ推進委員は、スポーツ教室の立案、スポーツの実技指導及び助言や学校、公民館等の教育機関その他行政機関の行うスポーツ行事又は事業に対する協力をすることで、市民の生活に直結した社会体育行事の運営と実施に協力する。登山相談所の開設により、山岳状況の把握や登山計画・装備等の指導、事故の防止等、登山の安全を図る。

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	9,107千円	8,164千円	8,428千円
	国庫支出金	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円
	起債	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円
	一般財源	9,107千円	8,164千円	8,428千円

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	大会、教室等協力	回	15	19	18	17	105.9%	17
②	登山相談所開設日数	日	45	45	45	45	100%	45
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	スポーツ推進員の活動	活動日数	71	78	75	80	93.8%	80
	②	相談所登山者数	人	8,356	11,193	7,942	10,000	79.4%	10,000
	③								
2. 数値で表せない効果 (指標 )									

**※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等**  
 北アルプス北部地区山岳遭難防止対策協会に係る事務については、どちらかといえば観光関連の業務である。過去の経過もあるが、今後協議が必要と考える。H28年度から「山の日」が制定され、登山関連の事業啓発を図る。

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	普通	高い	重複なし	普通
点数	3	2	3	3	2	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）				
	今後の方向性	継続	生涯スポーツを推進、拡大を図るうえで、スポーツ推進委員の活動やスポーツ推進審議会は重要であり、引き続き充実を図る。また、安全な登山がおこなわれるよう、相談所を関係機関と連携して引き続き開設していく。			
	評価点合計	16	18			

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	体育	課	社会体育	係	事務事業No.	110514			
事務事業名	体育大会運営事業					会計	一般会計				
まちのテーマ	人を育むまち					款	10	項	5	目	1
施策目標	元気あふれる市民スポーツの振興										
後期計画掲載頁	121		頁	個別計画		スポーツ推進計画					頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等			

事業の概要  
市民スポーツ祭ほか各種体育大会の運営

事業の目的  
スポーツ大会の開催と交流の促進

事業内容  
夏・冬季市民スポーツ祭、少年少女球技大会、大北縦断駅伝大会、大北スポーツ競技会、大町アルプスマラソン、県縦断駅伝大会、B&G少年武道大会、木崎湖カップカヌー大会、市民登山、復興支援サッカー大会（おおまびょんカップ）、ワンバウンドふらばーるバレーボール大会  
各種大会負担金

事業費	年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
	総事業費（決算額）		6,059千円	7,537千円	7,518千円
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
一般財源		6,059千円	7,537千円	7,518千円	

活動指標			平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	市民スポーツ祭	競技数	18	18	19	19	100.0%	19
	②	市主催スポーツ大会等	大会数	8	8	5	8	62.5%	8

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	市民スポーツ祭	参加人数	1,663	1,519	1,667	1,500	111.1%	1,500
	②	スポーツ大会等	参加人数	1,941	1,758	1,641	1,750	93.8%	1,700
	③	（アルプスマラソン）	参加人数	3,749	4,070	3,639	4,000	91.0%	3,200

2. 数値で表せない効果  
（指標）

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等  
市民スポーツ祭を始め市主催の大会等については、体育協会やスポーツ推進委員会の協力により運営している。現職員数では、スポーツ教室の運営等と重なり、準備のための負担が大きい。事業の見直しを図るとともに、一部、運営等をスポーツ団体等が行うなど検討が必要。  
アルプスマラソンは、H29年度から松本マラソンが始まり、日程が近いことから、魅力的な大会するよう検討が必要。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	改善の余地あり
点数	3	3	3	3	3	2	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	生涯スポーツの推進のため、市民スポーツ祭をはじめ各種スポーツ大会を継続していく。また、女子バドミントンの奥原希望選手の活躍もあったことから、バドミントンなどの全国レベルの大会等についても引き続き誘致していく。				
	評価点合計	17	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	体育	課	社会体育	係	事務事業No.	110515			
事務事業名	スポーツ振興事業					会計	一般会計				
まちのテーマ	人を育むまち					款	10	項	5	目	1
施策目標	元気あふれる市民スポーツの振興										
後期計画掲載頁	121	頁	個別計画	スポーツ推進計画							頁
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等					

**事業の概要**  
 各種スポーツ教室の開催、海洋性スポーツの普及。  
 JFAによる「こころのプロジェクト『夢の教室』」を開催、また、松本山雅FCのホームタウンとして、松本山雅を応援するとともに山雅を活用したスポーツ振興事業等の実施。

**事業の目的**  
 体力や年齢、目的に応じたスポーツ活動による健康、体力づくりができる機会と場所の提供。  
 また、JFAの「夢の教室」の開催や、松本山雅FCのサッカー教室、クリニック等によるキャリア教育やスポーツ振興などのほか、各種イベントへの参加等により地域の活性化等につなげるもの。

**事業内容**

- ・運動あそび教室（6歳児（年長））やママさんフリータイム広場〔春・冬〕（生後6ヶ月から入園前の幼児と母親）エアロピクス教室、バランスボール教室等各種教室の開催
- ・小学校5年生を対象に、「夢の教室」を開催し、夢を持つことの大切さや仲間と協力することの大切さを教える。
- ・松本山雅FCによるサッカー教室、クリニック等の開催。各種イベントへの選手やガングの参加 ほか

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
事業費	総事業費（決算額）	1,984 千円	9,276 千円	11,319 千円	
	財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円
		県支出金	千円	千円	千円
		起債	千円	千円	千円
		その他財源	千円	千円	千円
		一般財源	1,984 千円	9,276 千円	11,319 千円

活動指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
①	スポーツ教室	回	63	67	73	60	121.7%	65
②	海洋スポーツ教室	回	7	7	9	5	180.0%	5
③	夢の教室	学校数	4	5	5	5	100.0%	5

1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
①	スポーツ教室	人	2,016	1,938	3,283	2,000	164.2%	2,300
②	海洋スポーツ教室	人	87	100	117	85	137.6%	100
③	夢の教室	人	189	222	209	200	104.5%	200
2. 数値で表せない効果 (指標)								

**※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等**  
 現状では、現在、実施している教室の開催だけで、新たな事業に取り組むことが人的、日程的に困難である。教室の開催等についても、各種大会等と同様に検討が必要と考える。  
 スポーツ推進計画の大きな部分を占める事業であり、生涯スポーツ推進と併せ、奥原希望選手の活躍からも見られるように、競技スポーツの選手の育成が必要である。スポーツ少年団や総合型スポーツクラブの育成と合わせた取り組みが必要

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
評価	高い	高い	高い	重複なし	高い	改善の余地あり	
点数	3	3	3	3	3	2	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	各種スポーツ教室は、市民が身近に、気軽にスポーツに親しみ、また、健康づくり等に重要な事業であり、種目等の見直しを行いながら継続して行く。 H29年度より、青少年のスポーツ振興において、大会、講習会、県外の大会への参加の費用について一部を支援する補助制度を開始する。併せて、生涯スポーツの振興、指導者人材育成についても同様の補助を開始する。 JFAの「夢の教室」や、松本山雅FCの活用事業は子どもたちのキャリア教育やスポーツの推進につながるものである。松本山雅の、各種イベントへの参加等の地域貢献活動は、地域の活性化等に貢献するものであり今後も継続していく。				
	評価点合計	17	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	体育	課	社会体育	係	事務事業No.	110521			
事務事業名	体育施設維持管理事業					会計	一般会計				
まちのテーマ	人を育むまち					款	10	項	5	目	2
施策目標	元気あふれる市民スポーツの振興										
後期計画掲載頁	121		頁	個別計画		スポーツ推進計画					頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等			

**事業の概要**  
 体育施設の維持管理及び芝管理。（運動公園内サッカー場、陸上競技場、野球場の天然芝）

**事業の目的**  
 市民が快適にスポーツ施設を利用できるようにするため、施設の維持管理を行う。

**事業内容**  
 各施設の適正な維持管理。  
 天然芝は、プレー中の足腰への負担が軽減され、熱中症対策など選手の健康管理等に有益であり、直営で管理することにより、きめ細かな管理と柔軟な対応ができる。

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
事業費	総事業費（決算額）	55,095 千円	53,561 千円	54,399 千円	
	財源内訳	国庫支出金			
		県支出金			
		起債			
		その他財源			
		一般財源	55,095 千円	53,561 千円	54,399 千円

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	施設修繕	箇所	40	36	30	30	100.0%	30
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	修繕経費	千円	4,325	5,446	6,520	4,000	163.0%	4,000
	②								
	③								
2. 数値で表せない効果 （指標 ）									

**※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等**  
 体育施設の維持管理は、施設数が多く、芝管理も含め、その大部分を直営で管理している。委託しているものもあるが、美麻、八坂地区の施設については、なかなか目が行き届かない。また、老朽化による修繕箇所も増え、多額の費用を要する状況である。

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	改善の余地あり
点数	3	3	3	3	2	2	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	施設の老朽化や旧式化に伴い（屋内運動場など比較的新しい施設でも20年程度経過）維持管理費用が増加している。施設の計画的な改修や、統廃合などを需要や地元の要望を確認しながら検討していく。				
	評価点合計	16	18				

事務事業評価表

担当課	教育委員会	部	体育	課	社会体育	係	事務事業No.	110522			
事務事業名	体育施設整備事業					会計	一般会計				
まちのテーマ	人を育むまち					款	10	項	5	目	2
施策目標	元気あふれる市民スポーツの振興										
後期計画掲載頁	121		頁	個別計画		スポーツ推進計画					頁
事業期間	平成		年	～	平成		年	根拠法令・要綱等			

**事業の概要**  
生涯スポーツの推進のために、必要な施設整備を順次実施する。

**事業の目的**  
施設の在り方や利用率等を参考にスクラップ&ビルトにより施設の在り方を検討し、必要な施設整備を行う。

**事業内容**  
H25 B&G海洋センター体育館改修工事、平運動場照明増設工事  
H26 野球場整備工事、多目的芝生広場散水設備工事、B&G海洋センター艇庫スロープ改修工事、八坂山村広場ゲートボール場明り取り窓改修工事  
H27 弓道場トイレ改修工事、B&G海洋センター艇庫トイレ等改修工事、野球場整備工事（繰越）  
H28 新屋内運動場建設

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度
事業費 財源内訳	総事業費（決算額）	8,541 千円	24,671 千円	155,293 千円
	国庫支出金			
	県支出金			
	起債			
	その他財源			
	一般財源	8,541 千円	24,671 千円	155,293 千円

指標名		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
活動指標	①	千円	13,694	17,204	126,835	—	—	—
	②							
	③							
	④							

1. 数値で表せる指標		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	前年度（H28）	達成率	次年度（H29）
成果指標	①	箇所数	4	2	3	—	—	—
	②							
	③							
	④							
2. 数値で表せない効果 (指標 )								

※事務事業実施における課題及び指標・目標値が設定できない場合の理由等

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である
点数	3	3	3	3	2	3	
評価	方向性	担当部課等のコメント（評価結果による改善案や今後の取り組み方法等）					
	今後の方向性	継続	体育施設の整備、改修等については計画的に実施する。 新たな屋内運動場の整備については、28年度着工し、29年9月完成、11月利用開始予定。 H30年度に陸上競技場の公認更新を予定し、そのための整備をH29年度から開始する。				
	評価点合計	17	18				